

東洋紡株式会社と共同でCTAダイライザの一貫生産工場を新設

ー生産体制を強化、世界的な需要増に対応ー

ニプロ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:佐野 嘉彦、以下「当社」)は、東洋紡株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:竹内 郁夫、以下「東洋紡」)と共同で、当社 大館第7工場内に、CTA 製(セルローストリアセテート)ダイライザ(人工腎臓)の一貫生産工場を新設することを決定しました。世界で需要増が見込まれるダイライザの増産に対応するため、2024年7月の稼働開始を目指し生産体制の強化を図ります。

ダイライザとは、腎臓の機能低下により慢性腎不全となった患者が、人工透析により血液をろ過し、毒素を取り除くために利用する医療機器です。当社は、CTA 製中空糸を、1980年代初めより東洋紡 岩国事業所(山口県岩国市)から 大館工場に供給を受け、ダイライザを製造してきました。このCTA製中空糸膜のダイライザは、物質除去能と生体適合性に優れており、これまでも世界中で利用されてきました。

このたび東洋紡と共同で新設する工場では、前工程で東洋紡が原料から製造した中空糸をそのまま後工程で当社がダイライザにまで加工、製品化します。両社の生産工程がスムーズに連携する一貫生産体制を構築することにより、生産効率の飛躍的な向上が可能です。

世界の人工透析患者数は今後も年率7%で増加が予想され、それに伴ってダイライザの需要も増加が見込まれています。当社は東洋紡と緊密に連携し、ダイライザを必要とする世界中の患者さまのニーズに幅広く応えてまいります。

●新工場の概要

所在地：秋田県大館市二井田字羽貫谷地8番地7(ニプロ 大館工場内)

延床面積：約 31,000 m² (ニプロ:15,000 m²、東洋紡:16,000 m²)

構造(階数)：鉄骨造(3階建)

生産品目：人工透析用 CTA ダイアライザ

着工日：2021年7月

稼働日：2024年7月(予定)

設備投資額：約170億円

雇用人数：80名(予定)



▲赤点線枠内が今回の新設工場



お問い合わせ先

ニプロ株式会社 広報担当 TEL 06-6375-6700

※受付時間：9時～17時45分(土・日・祝日・当社休業日を除く)